

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	横浜デザイン学院
設置者名	学校法人石川学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	総合デザイン学科 ビジュアルデザイン分野	夜・通信	194 時間	160 時間	
	総合デザイン学科 ファッション分野	夜・通信	248 時間	160 時間	
	総合デザイン学科 マンガ・イラスト分野	夜・通信	200 時間	160 時間	
(					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページにて公開する。 <https://www.ydc.ac.jp/report>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	横浜デザイン学院
設置者名	学校法人石川学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページにて公開する。 <https://www.ydc.ac.jp/report>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2024/5/31～ 2026/5/30	コンプライアンス 維持管理
非常勤	公認会計士	2024/5/31～ 2026/5/30	財務上健全コント ーロール
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜デザイン学院
設置者名	学校法人石川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・2年間で習得すべき知識・技術と、それぞれが目標(就職)とする専門分野の業種業態の仕事の変化を捉え対応できる実践的なスキルとその意識を身に付けることと、学生の進路状況に応じて関連する必要なスキルも適宜授業に組み込むことができる体制や授業進行を計画。2019年度、学生成績評価基準について、以下のように、従来の定性的評価基準の見直しを行った。 1, 全ての授業において、評価基準の共通化と定量的成績評価に移行。 2, ①出席率②課題/試験③修業意欲④各科専門分野固有評価)の4項目を定量的5段階評価(S~Dグレード)による前期、後期、通年の成績評価とした。*授業に内容によっては、定性的な評価も加味する。 3, 2項に従い、同時に導入した校務システムのフォーマットにより新たなシラバス作成を実施。*新年度授業開始前適宜作成・公表。	
授業計画書の公表方法	https://www.ydc.ac.jp/report
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・年に2回の座学授業の試験及びレポート提出。通常授業の実技による作品評価、産官学連携課題の評価、特に1年生は進級時に修了制作作品、2年生は卒業制作に向け大小規模の中間チェックを数回にわたり教員、講師で行い、創造性の高い成果物を出来る限り多面的に評価する。また、授業課題を実行するプロセスと最終アウトプットを分けて評価を行うなど、適正かつ多面的客観的な成績評価を維持することに努力している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・専門分野を学ぶ学校としての特異な評価基準の設定(4項目:①出席率②課題/試験③修業意欲④各科専門分野固有評価)を可能な限り数値化すなわち定量的な評価に変換し、掲げたディプロマポリシーに対する到達度という視点で5段階に分けたランクで成績評価をつける方法を実施する。これにより、従来の相対、絶対評価による評価基準値の不確定傾向や定性的評価のネガティブな要素である曖昧な評価を減らし、成績評価に対する学生の納得度を高め、さらにゴールに向け必要なスキルの有無を学生教員間で共有でき得る成績評価を目指す。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ydc.ac.jp/report
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・評価基準のランクによる卒業認定の判断を軸に、ディプロマポリシーに基づいた力量と意識の到達度を最終認定とする。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ydc.ac.jp/report

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	横浜デザイン学院
設置者名	学校法人石川学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所備え付け、ホームページ https://www.ydc.ac.jp/report
収支計算書又は損益計算書	事務所備え付け、ホームページ https://www.ydc.ac.jp/report
財産目録	事務所備え付け、ホームページ https://www.ydc.ac.jp/report
事業報告書	事務所備え付け、ホームページ https://www.ydc.ac.jp/report
監事による監査報告（書）	事務所備え付け、ホームページ https://www.ydc.ac.jp/report

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化教養		専門課程		総合デザイン学科ビジュアルデザイン分野		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2400 単位時間／単位		単位時間 400 時間	単位時間 600 時間	単位時間 800 時間	単位時間 /単位	単位時間 600 時間	
				2400 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
120 人		45 人	11 人	2 人		7 人		9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ビジュアルデザイン分野 の仕事に必要な共通スキルの合同授業と各分野ごとに共通な選択授業を提供できることを基本に、通常授業では座学と実技による知識習得と作品制作、及び実践的課題の実施、1 年生は修了制作で進級評価、2 年生は産官学連携課題による実践的経験を軸に修学し、併せ卒業制作を集大成とし、就職に直結する 2 年間の修学計画を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）出席率、課題達成力、修業意欲、分野固有評価の 4 項目の評価割合を設定し、定量/点数、定性的な二面から評点化を行い、加点合点数毎に 5 ランク評価に分類し最終評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）評価基準のランクによる卒業認定の判断を軸に、ディプロマポリシーに基づいた力量と意識の到達度を専門課程として総合的に評価し最終認定とする。
学修支援等
（概要）学生個々のスキルを把握し、課題難易度の調整、修学向上のためのメンタルカウンセリング支援、キャリアサポートによる就職支援などの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0 %)	12 人 (60.0%)	8 人 (40.0%)
（主な就職、業界等） デザイン・Web デザインの企画、制作業務、印刷会社 DTP、製造販売業務、イラスト、ゲーム制作関連			

(就職指導内容) 就職希望者に対する個別カウンセリング、新卒求人に対する応募から採用試験に対する指導、就職イベント及びガイダンス学内企業説明会の実施、「就職リテラシー」授業の実施、インターンシップ企業連携等の事前事後指導及び企業とのコーディネート等
(主な学修成果(資格・検定等)) Illustrator クリエイター能力認定試験、 Photoshop クリエイター能力、 DTP エキスパート認証試験、色彩検定、CG クリエイター
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	3 人	6.4%
(中途退学の主な理由) 体調不良、学修意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面接、保護者面接、定期的な生活指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	総合デザイン学科フ アッション分野	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2400 単位時間／単位	単位時間 400 時間	単位時間 600 時間	単位時間 800 時間	単位時間 /単位	単位時間 600 時間
			2400 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		13 人	4 人	0 人	7 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）ファッション分野の仕事に必要な共通スキルの合同授業と各分野ごとに共通な選択授業を提供できることを基本に、通常授業では座学と実技による知識習得と作品制作、及び実践的課題の実施、1 年生は修了制作で進級評価、2 年生は産官学連携課題による実践的経験を軸に修学し、併せ卒業制作を集大成とし、就職に直結する 2 年間の修学計画を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）出席率、課題達成力、修業意欲、分野固有評価の 4 項目の評価割合を設定し、定量/点数、定性的な二面から評点化を行い、加点合計数毎に 5 ランク評価に分類し最終評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）評価基準のランクによる卒業認定の判断を軸に、ディプロマポリシーに基づいた力量と意識の到達度を専門課程として総合的に評価し最終認定とする。
学修支援等
（概要）学生個々のスキルを把握し、課題難易度の調整、修学向上のためのメンタルカウンセリング支援、キャリアサポートによる就職支援などの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0 %)	4 人 (100 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) ファッションアパレル系の企画、デザイン、製造販売業務			
(就職指導内容) 就職希望者に対する個別カウンセリング、新卒求人に対する応募から採用試験に対する指導、就職イベント及びガイダンス学内企業説明会の実施、「就職リテラシー」授業の実施、インターンシップ企業連携等の事前事後指導及び企業とのコーディネート等			

(主な学修成果（資格・検定等）)
パターンメイキング検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、ファッション色彩能力検定、洋裁技術検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	2 人	18.2%
(中途退学の主な理由) 体調不良、学修意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面接、保護者面接、定期的な生活指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	総合デザイン学科マンガ・イラスト分野	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2400 単位時間／単位	単位時間 400 時間	単位時間 600 時間	単位時間 800 時間	単位時間 /単位	単位時間 600 時間
			2400 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		45 人	8 人	0 人	7 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）マンガイ・ラスト分野の仕事に必要な共通スキルの合同授業と各分野ごとに共通な選択授業を提供できることを基本に、通常授業では座学と実技による知識習得と作品制作、及び実践的課題の実施、1 年生は修了制作で進級評価、2 年生は産官学連携課題による実践的経験を軸に修学し、併せ卒業制作を集大成とし、就職に直結する 2 年間の修学計画を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）出席率、課題達成力、修業意欲、分野固有評価の 4 項目の評価割合を設定し、定量/点数、定性的な二面から評点化を行い、加点合計数毎に 5 ランク評価に分類し最終評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）評価基準のランクによる卒業認定の判断を軸に、ディプロマポリシーに基づいた力量と意識の到達度を専門課程として総合的に評価し最終認定とする。
学修支援等
（概要）学生個々のスキルを把握し、課題難易度の調整、修学向上のためのメンタルカウンセリング支援、キャリアサポートによる就職支援などの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (%)	11 人 (42.3%)	15 人 (57.7%)
（主な就職、業界等） マンガアシスタント、イラスト、ゲーム制作関連業務			
（就職指導内容） 就職希望者に対する個別カウンセリング、新卒求人に対する応募から採用試験に対する指導、就職イベント及びガイダンス学内企業説明会の実施、「就職リテラシー」授業の実施、インターンシップ企業連携等の事前事後指導及び企業とのコーディネート等			
（主な学修成果（資格・検定等）） マンガ能力検定 クリップスタジオペイントクリエイター検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	9 人	15.8%
（中途退学の主な理由） 体調不良、学修意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面接、保護者面接、定期的な生活指導		

2. 教育活動に係る情報

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
総合デザイン学科	160,000 円	570,000 円	437,000 円	別途入学選考料
ファッション科	円	円	円	募集停止中
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ydc.ac.jp/report		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 【評価項目】教育理念・目標、学校運営、教育活動、学校成果、学生支援、教育環境、募集、財務、法令順守、財務、社会貢献・地域貢献、国際交流 【評価委員の構成】 花井 秀年 合同会社 DOORS 代表社員 食品コンサルタント 山口 禎子 山口会計事務所 公認会計士 理事 会計事務所 羽田 宜弘 ウェイズリンクス株式会社 代表取締役 CEO 片野坂 達也 BIG CHARLIE MARKET		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
コンサルタント	2025/6/1～2026/5/30	企業等委員
会計事務所	2025/6/1～2026/5/30	企業等委員
コンサルタント	2025/6/1～2026/5/30	企業等委員
デザイナー	2025/6/1～2026/5/30	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ydc.ac.jp/report		
第三者による学校評価（任意記載事項）		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.ydc.ac.jp/report>